2023年12月8日㈮　　第2716号

八幡西ロータリークラブ週報

2023～2024年度
会　長　坂本　敏弘
副会長　太田　信博
幹　事　江藤　賢一

例会日　毎週金曜日　　例会場　千草ホテル　北九州市八幡東区西本町1-1-1　　事務局：０９３－６８１－０６９４

本日の例会

1. ロータリーソング 「四つのテスト」
2. 来客紹介
3. 出席状況の報告
4. 祝誕生　　竹中達也 君　S48年12月4日
　　太田吉彦 君　S40年12月8日
5. 会長の時間
6. 各委員会報告
7. ニコニコボックスの報告
8. 幹事報告
9. 年次総会　　「次年度理事・役員の選出」

前例会の出席報告

12月1日(金)

会員数　　（49名）

当日の出席数	41名
ゲスト	5名
ビジター	0名
会員出席率	83.67%
前々例会の修正出席率	83.67%(11/24)

会長の時間

会長 坂本敏弘 君

12月1日は鉄の記念日

安政4年12月1日、南部藩士だった大島高任が日本で初めて洋式高炉を使った製鉄に成功したことにちなんで日本鉄鋼連盟が記念日に制定しています。 明治日本の近代化をはかるために西欧の溶鉱炉による大規模な製鉄所が必要になりました。当時の技術では、鉄鉱石を溶かして作るためには石炭が必要でした。石炭はただ鉄を溶かす燃料としてだけでなく、鉄の酸化物として自然に存在する鉄鉱石から鉄を取り出すには還元作用(酸素を取り除くこと)が必要です。
このために石炭に含まれる炭素が還元剤として必要でした。
全国でも石炭が豊富でカロリーが高いのは福岡県の筑豊方で、製鉄所を筑豊に近い八幡(現北九州市八幡地域)につくることが決定されました。
明治34(1901)年に、伊藤博文の富国政策のもとで多額の金を投入して、国が造った製鉄所として官営八幡製鐵所が完成しました。

幹事報告

幹事 江藤賢一 君

1）ロータリーレート変更のお知らせ
　12月1日から1ドル147円(従来149円)
2）例会変更のお知らせ
★八幡南RC
　12月21日(木)　家族忘年会　ホテルクラウンパレス北九州
　12月28日(木)、1月4日(木)休会

誕生祝い

高嶋雅樹君　昭和38年11月21日

還暦になりました。
家族からは赤いネクタイをプレゼントしていただきました。
還暦は厄年と聞いてましたが大病を患いまして入院してまだ杖が取れませんがリセットしてこれから良くなると考えていきます。

村山大成君　昭和31年11月14日

67歳になりこの場でお話しするのは22回目となります。
去年66歳の誕生日に妻の方から離婚の理由について話があり、ありがとうとごめんなさいを言わない人という事を言われました。それについて1年間一生懸命やりましたが、妻にはあまり言えませんでした。今年67歳になって妻にはありがとうとごめんなさいを言える様に頑張ります。

ニコニコボックス

・第3グループガバナー補佐の岡橋です。今日は来年2月17日のIMのPRでお伺いしました。多数の参加をお待ちしております。
八幡RC　岡橋君
・2月17日㈯のインターシティミーティングへのご出席をお待ちしております。どうぞよろしくお願いします。　八幡RC　中野君
・高橋先生よろしくお願いします。
山口、八尋、太田(信)、江藤、岸野、坂本、有松、小嶋、伊豆、三島
江戸、稲冨、藤村、永吉、江﨑、藤本の諸君
・誕生自祝　村山、高嶋の諸君
・早退のお詫び　波多野、安東の諸君

2023～2024年度12月定例理事会議事録

1）2023～2024年度　1月例会プログラムについて

1月 5日　会長年頭卓話　⇒　休会に変更
　　※4月26日（金）の休会を通常例会に変更
12日　年男新春放談　⇒　会長年頭卓話に変更
19日　年男新春放談　⇒　職場訪問　於）小倉昭和館
26日　職場訪問　⇒　卓話「職業奉仕について」 神尾康生 君
※1/12、1/19の年男新春放談は2/2、2/9に変更
＜上記承認＞

2）11月の例会変更について

11/17(金)例会を11/4(土)に変更したことについて
※定款第7条会合　第1節例会(C)会合の変更。正当な理由がある場合、理事会は、例会を、前回から次回の例会の間のいずれかの日、定例日の他の時間、または他の場所に変更することができる。
定款上は前後一週間で例会変更をしないといけない。
今後間違いのないようにすることを確認した。
＜上記承認＞

3）その他

・新会員2名の委員会所属とメンターについて
　2名(新家友晴 君、宮島祐一 君)とも委員会は、親睦委員会。
　メンターは、推薦者の永吉大祐 君、野田博志 君。
・新会員の職業分類について
　入会者に合わせて追加する。
・小倉昭和館へ3万円の寄付をする。　＜上記承認＞

本日の卓話

「不確実な時代の戦略」
北九州市立大学マネジメント研究科
准教授　高橋 秀直 様

北九州市立大学大学院マネジメント研究科の高橋秀直准教授より不確実な時代の戦略のお話しをしていただきました。
不確実な時代(VUCA時代)で考えないといけない事はデジタル化などのビジネス環境への変化やパーパス経営が必要になる。
経験や今起きてる事象に対して能動的な意味を与えたり、想定外の出来事や不確実の高い事象に意味付けを行ったりする状況好転しセンスメイキングのプロセス(行動・行為→感知・理解→解釈・意味づけ)を活用する。
VUCA時代に必要な事はAgility(俊敏性)、Speed、Creativityとの事です。

次回例会のお知らせ

12月14日(木)　忘年家族会　※15日(金)を変更して開催